

リスク評価（手順・評価実施記録表）

（リスクアセスメント等の手順）

手順	具体的方法
1 資料の入手	安全管理者は、リスクアセスメント等を適正に行うために必要な資料を収集する。
2 危険有害要因の特定（危険性または有害性の特定）	資料等により危険有害要因を書き出し特定する。特定にあたっては、単調作業の繰り返しや深夜労働による集中力の欠如等も考慮する。
3 災害の予測	特定された危険有害要因によって予測される災害を書き出す。
4 リスクの見積りと優先順位の設定（リスクの評価）	<p>① 予測される災害が発生した場合の被災の程度（重篤度）を「負傷または疾病の重篤度の区分表」（表1）により定める。</p> <p>② 災害の発生の可能性（頻度）を「負傷または疾病の発生の可能性の区分表」（表2）により定める。</p> <p>③ 上記の区分の組み合わせから「リスクの見積表」（表3）によりリスクの大きさを定める。</p> <p>④ リスクの大きさから「優先度の決定表」（表4）により優先度を決定する。</p>
5 リスク低減措置の検討と実行	<p>① 法令に定められた事項は必ず実施する。</p> <p>② リスク評価（表4）の結果を踏まえ、リスクの高いものから順次、次の優先順位によりリスク低減措置の内容を検討し実施する。</p> <p>第1位 危険作業の除去や見直しなどにより仕事の計画段階から行う除去または低減の措置</p> <p>第2位 機械・設備の防護囲い・安全装置の設置、作業台の使用などの物的対策</p> <p>第3位 教育訓練・作業管理等の管理的対策</p> <p>第4位 安全帯、保護マスク、保護手袋などの個人用保護具の使用</p>

表中、手順1「資料の入手」の具体的方法に記載の「必要な資料」は、次のものとする。

- 1 作業標準書、作業手順書等。
- 2 機械・設備等の仕様書、化学物質等安全データシート（SDS）等、機械・設備・材料等の危険性または有害性の情報。
- 3 機械・設備等の設置場所の周囲の状況図面。
- 4 災害事例、災害統計。

5 その他必要な資料（職場巡視記録、ヒヤリ・ハット・キガカリ報告書、作業環境測定結果等）

リスクアセスメント等を実施した場合は次の事項等を所定の用紙（表5）に記録し保存する。

- ① 調査等を実施した日付
- ② 実施者
- ③ 洗い出した作業または行程
- ④ 特定した危険性または有害性
- ⑤ 見積もったリスク
- ⑥ 設定したリスク低減措置の優先度
- ⑦ 実施したリスク低減措置の内容

表1 負傷または疾病の重篤度の区分

重篤度	内容の目安
致命的・重大 ×	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡災害や身体の一部に永久的損傷を伴うもの ・休業災害（1カ月以上のもの）
中程度 △	<ul style="list-style-type: none"> ・休業災害（1カ月未満のもの）
軽度 ○	<ul style="list-style-type: none"> ・不休災害やかすり傷程度のもの

表2 負傷または発生の可能性の区分

発生の可能性	内容の目安
頻度・可能性が高いか 比較的高い ×	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日頻繁に危険性または有害性に接近するもの ・かなりの注意力でも災害につながり回避困難なもの
時々・可能性がある △	<ul style="list-style-type: none"> ・非定常的な作業で危険性または有害性に時々近接するもの ・うっかりしていると災害になるもの
ほとんどない 可能性が殆どない	<ul style="list-style-type: none"> ・危険性または有害性の付近に立ち入ったり、近接することが滅多にないもの ・通常の状態では災害にならないもの

表3 リスクの見積り

		負傷または疾病の重篤度		
		致命的・重大 ×	中程度 △	軽度 ○
発生 の 可 能 性	頻度・可能性が高いか 比較的高い ×	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
	時々・可能性がある △	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
	ほとんどない 可能性が殆どない ○	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ

表4 優先度の決定

リスク	優先度	
Ⅲ	直ちに解決すべきまたは重大な リスクがある	措置を講ずるまで作業停止する必要がある。 十分な経営資源（費用と労力）を投入する 必要がある。
Ⅱ	速やかに低減措置を講ずる必要 のあるリスクがある	措置を講ずるまで作業を行わないことが望 ましい。 優先的に経営資源（費用と労力）を投入する 必要がある。
Ⅰ	必要に応じてリスク低減措置を 実施すべきリスクがある	必要に応じてリスク低減措置を実施する。

表5 リスクアセスメント等実施記録表

リスクアセスメント対象工事	
リスクアセスメント実施日	年 月 日 (~ 年 月 日)
リスクアセスメント実施者	

検印	検印	検印	検印

作業名 設備名	危険有害要因	予測される災害	リスクの見積り			リスク低減対策	措置後のリスクの見積り			対応措置	
			被災の程度	発生の可能性	優先度		被災の程度	発生の可能性	優先度	対策実施日	次工事検討事項